



友好都市小牧市 市制60周年 記念式典開催

小牧市は昭和30年1月1日に市制が施行されてから、平成27年で60周年を迎えました。

これを記念して5月17日に「小牧市制60周年記念式典」が小牧市市民会館で開催され、関係者や市民ら約1,300人が出席しました。

八雲町からは来賓として伊瀬副町長が出席し、式典後のレセプションで「ユーラップレラの会」が作成したアイヌ民族衣装を山下市長に贈呈し、そのお礼として伝統工芸品である尾張漆器のお盆を八雲町へ

頂きました(詳細24ページ)。

式典では山下市長が「郷土の先人たちの思いをしっかりと引き継ぎ、未来に向かって大いなる夢を描き、限らない挑戦を続けたいと思います」と式辞を述べました。

また、この記念イベントで、小牧市のシンボル小牧山をモチーフにした新マスコットキャラクター「こまき山」も初登場し、小牧戦国少女隊の演舞などとともに式典を盛り上げました。

式典の最後には「こども・夢チャレンジNo.1都市宣言」が行われ、各小学校の児童が都市宣言を行い、大きな拍手が送られました。

小牧市の新キャラクター 「こまき山」が誕生!



「こどもたちが、夢を描き、挑戦していけるまちになりたい。そして、その夢をまち全体で、市民のみならずとっしょに応援していけるまちになりたい。ワタクシは、そんな「小牧市の夢」から生まれたコマ。」と語るこまき山。

八雲町の皆さんへ 今年の小牧の夏は 自慢の歌声が響きます NHK のど自慢 開催!



今年で市制60周年を迎えた小牧市の記念事業として、8月23日(日)にNHKのど自慢が開催されます。テレビの前でぜひご覧ください!



夏の小牧市はココが熱い!
東海地方では珍しい行灯山車行列
「小牧平成夏まつり」
「小牧七夕夏まつり」
7月25日・26日開催!



小牧平成夏まつり

小牧市の夏の一大イベントといえば「小牧平成夏まつり」です。4m近い巨大な山車が、華麗なパフォーマンスと共に中心市街地の道路を堂々と練り歩く行灯山車行列がメインのまつりです。

実はこのまつりは「八雲山車行列」を参考にして、小牧市でも同じような山車をメインにしたまつりで地域の活性化を図ろうという一こで平成元年から始まりました。回を重ねることによさこい鳴子やエイサーなど、八雲町から受け継いだハネト踊り以外の参加団体も増加しています。伝統的なねぶたまつりをベースに始められましたが、現在では形にとらわれないことなく、各々が特色のあるパフォーマンスを行う小牧独特のまつりとなっています。

小牧市市制60周年を迎える第27回目は、21台の迫力ある行灯山車とともに、踊りや太鼓などのパフォーマンスで小牧の夏を例年以上に熱く盛り上げます。駅前商店街には、約50の屋台が軒を連ね、山車行列と一緒に小牧をさらにぎやかにします。山車を先導するお囃子と豪快に叩きあげる和太鼓の音、そして踊る人々の声が夏の夜空に響きます!2日目は和太鼓と手筒花火・アメリカ花火のコーラボレーションで華やかにフィナーレを飾ります。

【問い合わせ先】

・小牧平成夏まつり 小牧市役所 ☎0568-72-2101(代表)
・小牧七夕夏まつり

愛知県小牧市ラジオ通り商店街振興組合
☎0568-76-2111